

開校 50 周年記念式典開催！

去る2月25日（土）に、海田西小学校開校50周年記念式典を行いました。御来賓には、西田祐三町長、桑原公治町議会議長をはじめ、町議会議員、教育委員、元海田西小学校長など、総勢33名の方々にお祝いにお越しいただきました。体育館では、いっぱいのお来賓とともに子供たちも緊張の中、式典は始まりました。

開会行事後は、陸上自衛隊第13音楽隊の方々の楽しい演奏でした。教職員も



演奏やダンスで飛び入りをして、子供たちも大喜びでした。また、その後は、海田町出身のNHKお天気キャスター、勝丸恭子さんの講演でした。お天気クイズなどを取り入れた楽しい講演でした。これらの様子は、オンライン配信をしていましたので、ご覧いただいた保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ひとくちに50周年と言っても、子供たちには、想像もつかない期間だと思えます。式典の中で私からの式辞で話しましたが、50年前は、「海田西小学校」ではなく、「西海田小学校」として開校しています。その名残で、校歌の3番では、「学ぶわれらが西海田」と歌詞にあります。比較的地元出身の方が少ない海田西小学校ですが、親子で同じ学校に通学していただいている御家庭もあるようです。ここ3年間は、コロナ禍で、今回の記念式典の開催方法をどうするか非常に悩みましたが、半日の短時間でありながら、



内容のある式典になったのではないかと考えています。一緒に参加していただいた来賓の方からは、「盛り上がる時は盛り上がる、問われたことには素直に答える、話を聞くときは真剣に聞く そんな児童の自然な姿がすばらしかった」とお褒めいただきました。また、第5代校長から、前任の校長まで5名の歴代校長が御臨席され、海田西小学校を懐かしんでおられました。このように、これまで通学した子供たち、先生方のお

かげで、今の海田西小学校があるのだと痛感しました。3学期の始業式の校長からの話で、「様々な人に感謝できる人になろう」と子供たちに伝えました。海田西小学校が、これからも60周年、100周年と続きますよう、皆様とともに、歴史を創り上げていきたいと考えておりますので、今後とも御支援、御協力をよろしくお願い致します。

3月2日の中国新聞に、この50周年を記念に今の6年生が5年生の時に考えてくれたマスコットキャラクター「夢りん」のことが掲載されました。これから学校からお出しするお手紙などに載せていきます。この他の記念事業としまして、校舎前に記念樹を植栽する予定です。植樹できましたら、またお知らせします。

今回の記念事業に係る費用に、海田西小学校PTAから多くの御援助をいただき、有効に使わせていただきました。紙面で大変恐縮ですが、お礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

開校50周年記念キャラクター
「夢りん」



中国新聞（令和5年3月2日付け朝刊）

海田西小50周年 「夢りん」が誕生

海田町の海田西小（南つくも町）は、開校50周年を記念してオリジナルキャラクター「夢りん」を作った。児童がリンゴをモチーフに考案した。学校便りなどに掲載していく。

夢りんは、葉っぱの付いた赤リンゴの頭をしたキャラクターで、おなかに「夢」と書かれている。児童が2021年度まで学校行事で訪問していた北広島町の特産品であるリンゴにちなむ。

「皆が夢を持ち、かなえてほしい」との願いを夢の字に込めているという。

児童が考案リンゴに願ひ込める

行事で訪問北広島の特産モチーフ



「夢りん」が描かれた横断幕を持つ児童

い」との願いを夢の字に込めているという。

同校は1973年開校で全校児童は208人。現6年生が、5年生だった21年度に開校から半世紀の節目にキャラクターを作ろうと企画。全約30人が8班に分かれて案を考え、投票をして決めた。50周年を記念して同校が校舎屋上に掲げた横断幕にも掲載している。

夢りんを考えた班の石飛紗栄さん(12)は「丸っこく、ふわふわとかわいいイメージで作った。いろんな人に見て夢を持ってほしいし、私もケアマネジャーになる目標をかなえたい」と話していた。（二井理江）

校長の真面目な子育て日記③②

3月が始まりましたね。「1月は、いぬる、2月は逃げる、3月は去る」とはよく言ったもので、私たち教職員にとって、3学期はあっという間に過ぎ去ってしまうことを毎年痛切に感じています。現在、各学年の学習は、学年の総まとめを行っているところです。わからないところは、次の学年に持ち上がらず、できるだけ確実に理解しておきたいものです。学校でも繰り返して復習をしていますが、気になるところがありましたら、遠慮なく担任に御相談ください。特に6年生は、小学校に登校するのは、本日を入れて、あと12日間です。6年間というのは、過ぎ去ってみればあっという間ではないでしょうか？6年生の子供たちの言動も、卒業を控えた6年生だなと感じることが多くなってきました（教師ならではの感触があるのです！）。中学校への進学が楽しみでもあり、不安でもあり、複雑な心境だと思います。他の中学校に進学する子もいますが、海田西中学校では、海田小学校の多くの児童と一緒にあります。私は、常々学校での一番大きな行事は「卒業式」だと考えています。これまで6年間学んだ子供たちの最後の発表の場なのです。今の複雑な気持ちの混じった6年生が、立派に、堂々と卒業式を迎えられるよう、私たちは支えていきたいと考えています。今年度は、3年ぶりに5年生も卒業式に参加します。卒業生を見送りながら、自身が最高学年になる自覚を持つことのできる行事でもあります。すべての子供が、無事1学年進級できますよう本年度も最後まで、どうぞよろしく願いいたします。我が家のツンデレ娘も小学校を卒業です。どんな中学生になるのやら。やっぱり、心配する親の気持ちは、卒業できないようです。。